むすびの森教育　花（Hana）プログラム

中学校版

④ 14～15歳　思考・自立・社会性を育てる

Musubi no Mori Education （MME）



いのちのために動く

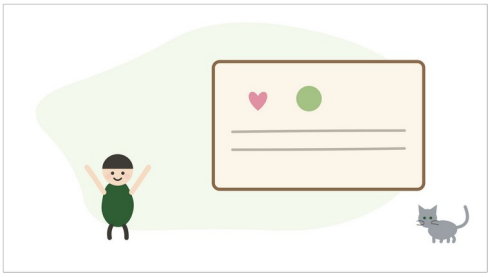
確かな学力を土台に、答えのない課題へ挑みます

中学校学習指導要領に完全準拠／高校進学に対応

はじめに

この時期の生徒像

自分の頭で、世界を判断しはじめる時期です



思

抽象的に考えられる

因果、仮説、統計。感情から論理へ重心が移ります

疑

疑うことを覚える

大人の言うことを鵜呑みにしない。それは健全な成長です

己

自分は何者かを問う

進路、得意不得意、将来。答えの出ない問いと向き合います

社

社会とつながりたい

教室の外に、自分が役に立てる場所を求めています

はじめに

中学校期の 4 本柱

学

確かな学力の保障

指導要領に完全準拠。高校進学に必要な学力を確実に

探

探究プロジェクト

週 4 時間。答えのない課題を 1 年かけて自分で追う

表

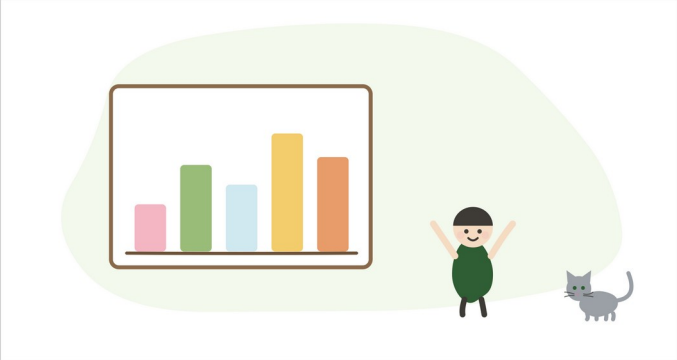
批判的思考と表現

資料を吟味し、根拠とともに自分の立場を述べる

部

部活動と自治

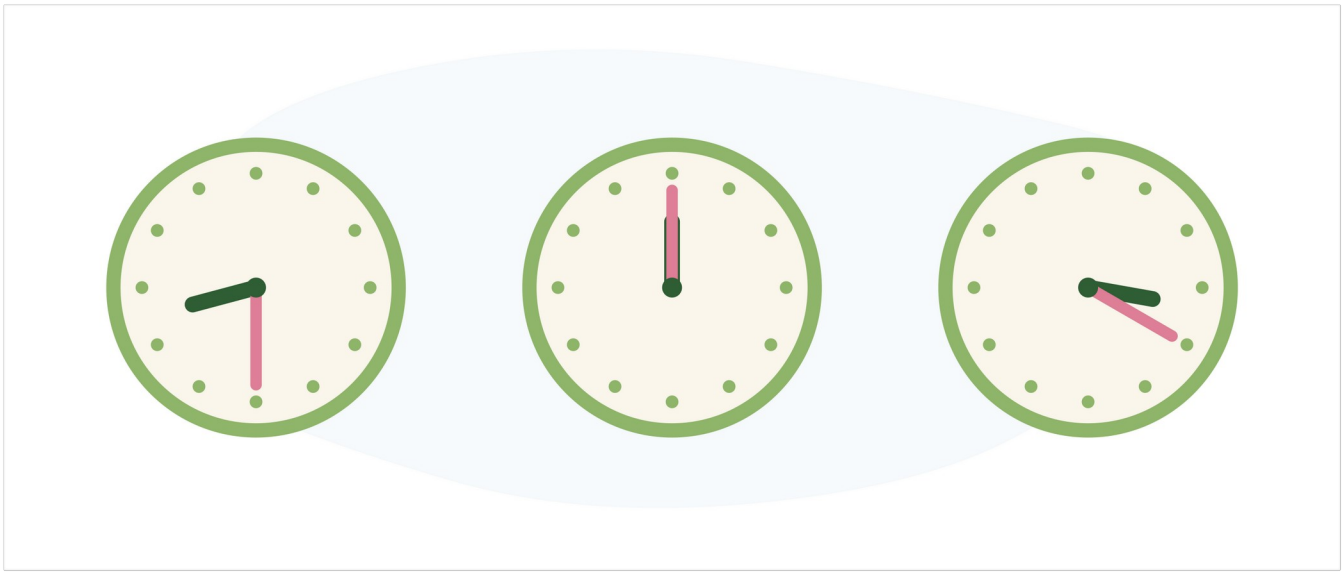
日本式の部活動と生徒会。学校運営に生徒が参画する



CHAPTER 1

1日と1週間

学力の時間と、探究の時間を両立させる



1 1日の流れ

2 週間時間割 1年

3 週間時間割 2～3年

1. 1 日と 1 週間

1 日の流れ

午前は教科、午後は探究と実践。朝は必ず当番から

時刻	区分	内容
8:20	朝のサークル	詩・連絡・動物の共有
8:35	いのちの当番	給餌・清掃・健康確認
9:05	エポック授業	1 教科を 3 〜 4 週間連続で
10:35	教科授業①	国数英理社
11:30	教科授業②	国数英理社
12:25	給食・掃除	自分たちで運営する
13:25	探究プロジェクト	テーマ研究を進める
14:20	実技・実践	体育・技家・芸術・菜園
15:15	ふり返り	記録と明日の準備
15:40	部活動	運動部・文化部・いのちの活動部

1. 1日と1週間

週間時間割　1年

エポック授業を軸に、探究の型を身につける学年です

時限	月	火	水	木	金
1	当番	当番	当番	当番	当番
2	エポ	エポ	エポ	エポ	エポ
3	数学	国語	英語	数学	国語
4	理科	社会	数学	英語	理科
5	探究	探究	道徳	探究	探究
6	体育	音楽	技家	体育	美術
7	菜園	学級会	森	手工芸	生徒会

当番＝いのちの当番　エポ＝エポック授業
探究＝探究プロジェクト　技家＝技術・家庭

週間時間割　2〜3年

教科の時間を厚くしつつ、探究を継続します

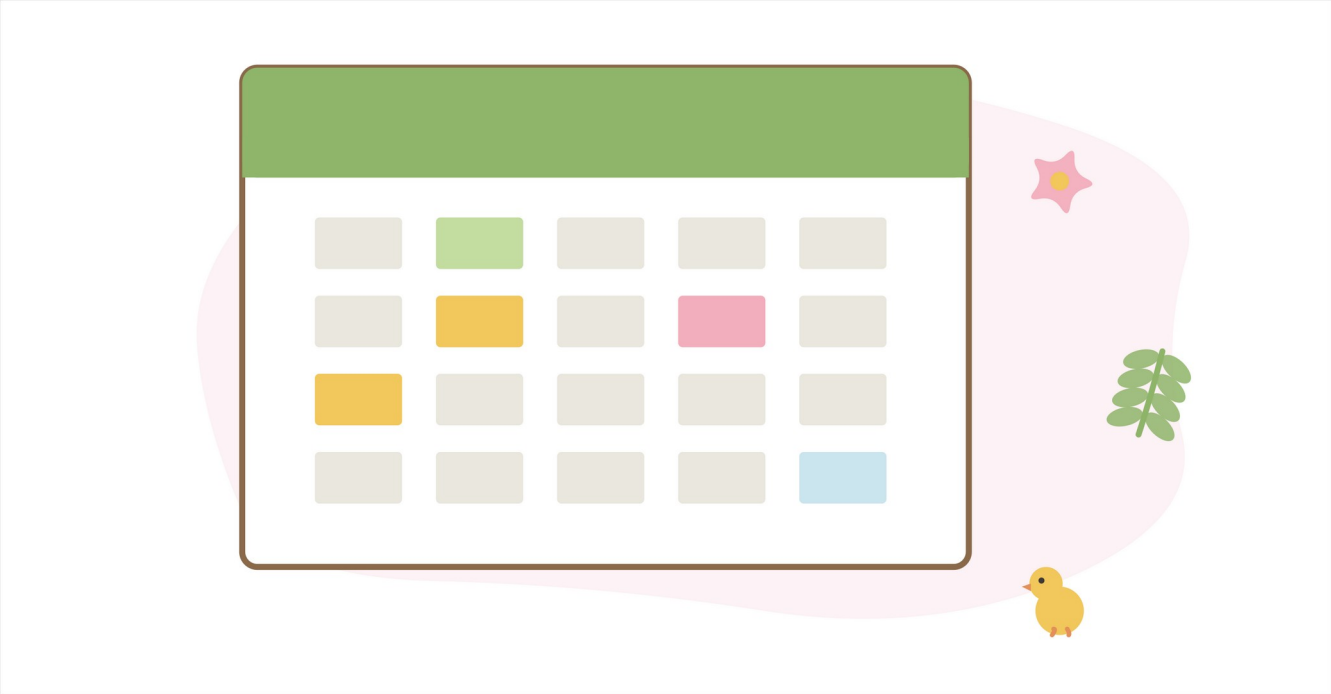
時限	月	火	水	木	金
1	当番	当番	当番	当番	当番
2	エポ	エポ	エポ	エポ	エポ
3	数学	英語	国語	数学	英語
4	国語	理科	社会	理科	社会
5	英語	数学	道徳	国語	数学
6	探究	探究	技家	探究	探究
7	体育	音楽	菜園	体育	美術

当番＝いのちの当番　エポ＝エポック授業
探究＝探究プロジェクト　技家＝技術・家庭

CHAPTER 2

年間教育計画

探究の１年サイクルと、進路の見通し



1 4月〜6月／7月〜9月

2 10月〜12月／1月〜3月

3 3年間の見通し

2. 年間計画

4 月〜 6 月

テーマを決め、問いを立てる時期

月	行事・節目	エポック	探究の活動
4	入学式・テーマ選定	人体と健康	関心のある社会課題を 100 個書き出す
5	フィールド調査開始	日本の近代史	問いを 1 つに絞り、仮説を立てる
6	中間発表①	化学と物質	文献調査と一次データの収集

1 学期は問いを立てることに時間をかけます。急いで答えを出しません。

2. 年間計画

7月〜9月

現場に出て、データを集める時期

月	行事・節目	エポック	探究の活動
7	夏の祭り・現地調査	地理と気候	愛護センター・保護団体・農家での聞き取り
8	夏季休業	自由研究	データの整理と分析。指導教員と個別面談
9	中間発表②	力学と機械	仮説の検証。問いの立て直し

夏は必ず現場に出ます。一次データを自分の足で取ることが要です。

2. 年間計画

10 月〜 12 月

考えを深め、形にする時期

月	行事・節目	エポック	探究の活動
10	収穫祭・体育祭	生物の多様性	結論を導き、反論も併せて検討する
11	動物愛護の集い	経済と社会	提言をまとめ、関係者にレビューを依頼
12	冬至祭・慰霊の日	光と天文	論文とプレゼン資料の作成

結論と同じ重みで、反論と限界を書くことを求めます。

2. 年間計画

1月〜3月

社会に届け、次へ渡す時期

月	行事・節目	エポック	探究の活動
1	私立入試・書き初め	日本の文化	行政・議会・地域への提言を準備
2	公立入試・節分	統計とデータ	提言の実施。地域清掃・支援活動を実行
3	むすび祭・卒業式	1年のまとめ	卒業プロジェクト発表会。後輩へ引き継ぐ

3年生の受験期と探究の完成期が重なるため、日程を丁寧に組みます。

2. 年間計画

3 年間の見通し

同じ探究の型を、 3 年かけて深めます

学年	探究の段階	到達目標
1 年	型を知る	グループで問いの立て方と調べ方を学ぶ
2 年	自分で回す	個人で 1 年間の探究をやりとげる
3 年	社会に届ける	卒業研究を外部に発表し、行動する

同じ型を 3 回まわすことで、探究の作法が身体に入ります。

CHAPTER 3

教科別カリキュラム

進学に必要な学力を、体験と結びつけて確実に



1 国語・数学・英語

2 理科・社会

3 実技教科

4 道徳・特別活動

3. 教科別カリキュラム

国語

読み、書き、そして立場を述べる



日

学習指導要領の内容

古典、現代文、論説の読解、論理的な文章表現、話し合い

エ

エポック・芸術の要素

詩の暗唱と朗読。文学作品を数週間かけて味わう

探

自主性・探究の要素

自分でテーマを選び、書評と論説を書く

結

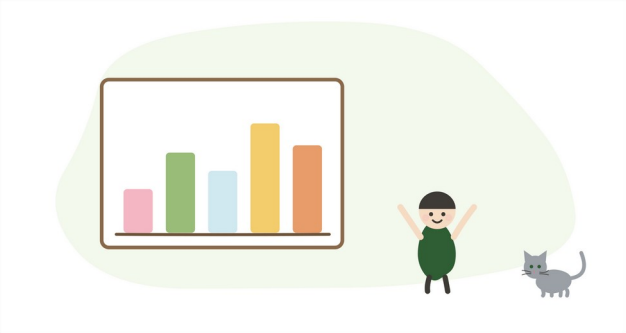
動物愛護との融合例

動物をめぐる報道や意見文を読み比べ、根拠の質を吟味する

3. 教科別カリキュラム

数学

抽象を扱う力を、実データで鍛える



日

学習指導要領の内容

正負の数、文字式、方程式、関数、図形の証明、確率と統計

エ

エポック・芸術の要素

図形の作図と幾何学模様。数の歴史を物語で

探

自主性・探究の要素

探究テーマのデータを自分で統計処理する

結

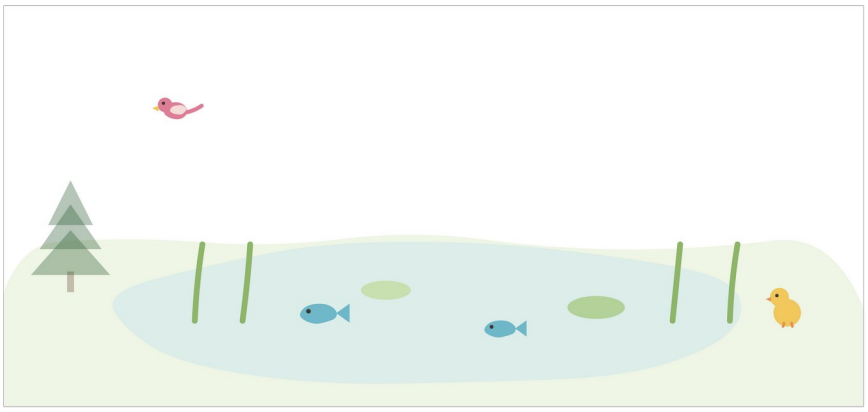
動物愛護との融合例

殺処分数の推移、譲渡率、地域別の比較をグラフと統計で分析

3. 教科別カリキュラム

理科

観察と実験から、原理へ



日

学習指導要領の内容

身のまわりの物質、生物の体、電流、天気、地球と宇宙、生態系

エ

エポック・芸術の要素

観察から入り、法則は最後に言葉にする

探

自主性・探究の要素

1 年間の定点観測を各自が設計する

結

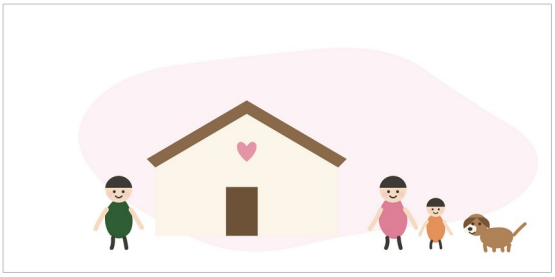
動物愛護との融合例

校内ビオトープの生態系調査。飼育環境と動物の健康の相関を検証

3. 教科別カリキュラム

社会

制度を知り、しくみを変える側に立つ



日

学習指導要領の内容

地理、歴史、公民（政治・経済・法）、国際社会

エ

エポック・芸術の要素

地域の歴史を、人物の物語として語り伝える

探

自主性・探究の要素

自治体の担当課に取材し、一次情報にあたる

結

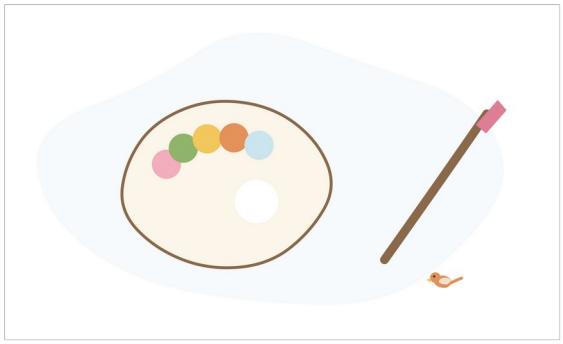
動物愛護との融合例

動物愛護管理法の改正史と自治体の施策を調べ、議会に提言する

3. 教科別カリキュラム

英語

世界の情報にアクセスする道具として



日

学習指導要領の内容

4 技能の統合的な指導、語彙、文法、やり取りと発表

エ

エポック・芸術の要素

英語の詩と歌。リズムから音に慣れる

探

自主性・探究の要素

探究テーマの海外事例を英語の資料であたる

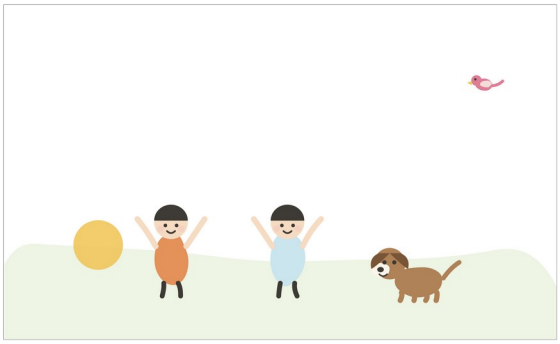
結

動物愛護との融合例

海外の動物福祉制度を英語で調べ、日本と比較して発表する

実技教科

手と体でつくり、動かす



日

学習指導要領の内容

保健体育、技術・家庭、音楽、美術。実習と実技を重視

エ

エポック・芸術の要素

オイリュトミー、木工、金工、染織などの本格的な手仕事

探

自主性・探究の要素

自分で設計し、制作し、改良する

結

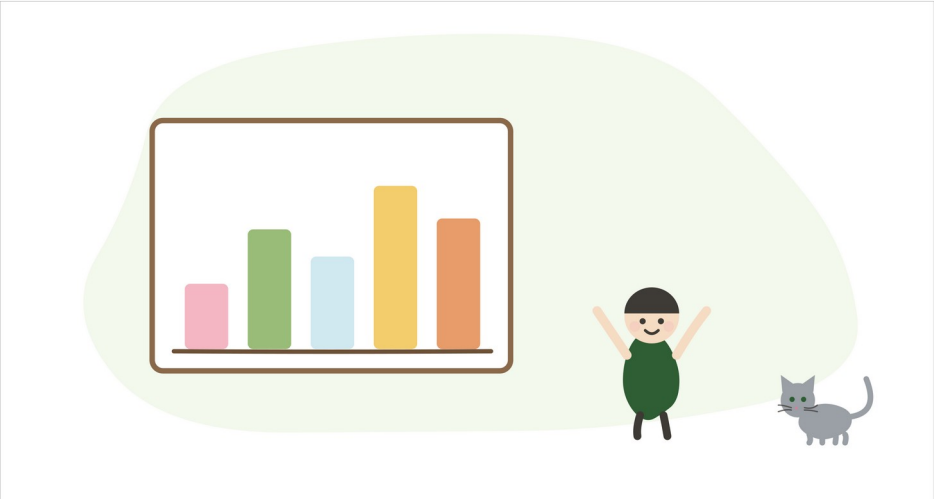
動物愛護との融合例

飼育舎の設計・製作・改修を技術科の課題として行う

CHAPTER 4

探究プロジェクト

答えのない課題に、根拠をもって向き合う



1 探究の 6 段階

2 テーマ例

3 指導と評価

4 卒業プロジェクト

4. 探究プロジェクト

探究の 6 段階

週 4 時間 ×1 年間。この順序を必ず踏みます

段階	内容	生徒がやること
1	問いを立てる	関心を 100 個書き出し、 1 つに絞って言語化する
2	調べる	文献・統計・法令にあたり、先行の議論を把握する
3	現場に出る	施設・行政・当事者に取材し、一次データを取る
4	分析する	データを整理し、仮説を検証する。反証も探す
5	提言する	実行可能な提案にまとめ、外部のレビューを受ける
6	行動する	できる範囲で実際に動き、結果を記録する

4. 探究プロジェクト

テーマ例

答えが 1 つに決まらない、現実の課題を選びます

領域	テーマの例
殺処分と譲渡	自治体ごとの譲渡率の差は何によって生じるか
多頭飼育崩壊	福祉と動物行政の連携で何を防げるか
野生動物と農業	獣害対策と生息環境保全は両立できるか
畜産と食	アニマルウェルフェア畜産のコストを誰が負担するか
災害と動物	同行避難を実現するために地域に何が必要か
ペット産業	生体販売の規制は動物福祉を改善したか

4. 探究プロジェクト

指導と評価

教師は答えを与えず、問いの質を上げる役に徹します



面

隔週の個別面談

「いま何がわからないか」を聞く

公

年 3 回の公開発表

校内・保護者・外部専門家の前で、順に段階を上げる

評

評価の観点

問いの質、根拠の妥当性、反論への応答、行動したか

失

うまくいかない価値

仮説が外れた過程も、正しく記述されていれば高く評価する

4. 探究プロジェクト

卒業プロジェクト（3年）

3年間の集大成として、社会に一度届けます



論

研究論文

8000字程度。問い・方法・結果・提言

物

制作物

論文に加え、模型・映像・道具など形あるものを1点

発

公開発表会

むすび祭で、地域・行政・保護団体を招いて発表

継

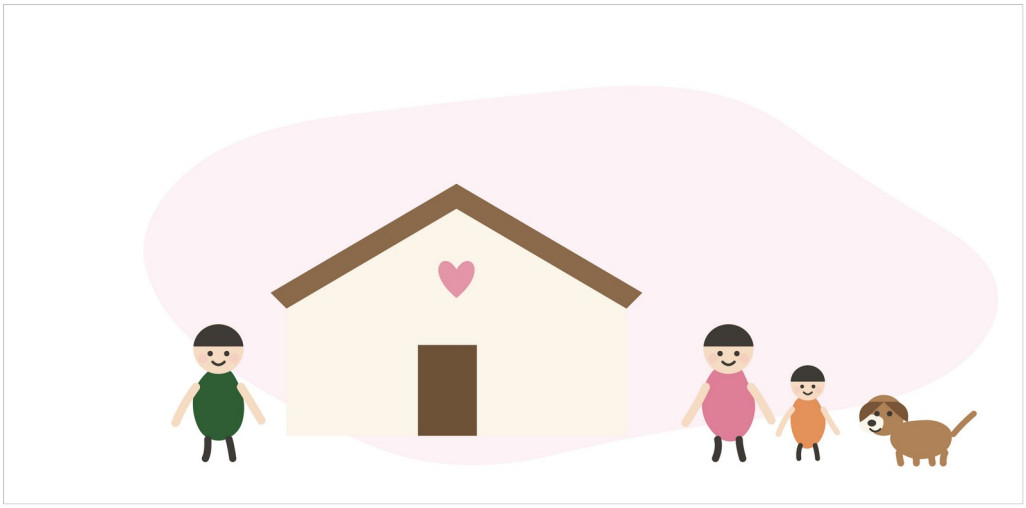
引き継ぎ

後輩が続けられるよう、データと手順を残して卒業する

CHAPTER 5

進路・部活動・自治

外の世界に出ていくための準備



1 進路指導と受験対応

2 部活動

3 生徒による自治

4 評価と調査書

進路指導と受験対応

独自の学びと、一般的な進学の両立を保証します

学

学力の担保

指導要領に完全準拠。年 3 回の到達度確認と個別補習

対

入試対策

3 年次の 2 学期以降、放課後に受験対策講座を開設

書

調査書の作成

評定に加え、探究と飼育の実績を記述

路

多様な進路

普通科・専門学科・高専・農業高校・海外校まで幅広く支援



5. 進路・部活・自治

部活動

運動部・文化部に加え、いのちに関わる部を置きます

運 運動部

サッカー・バスケ・陸上・剣道

文 文化部

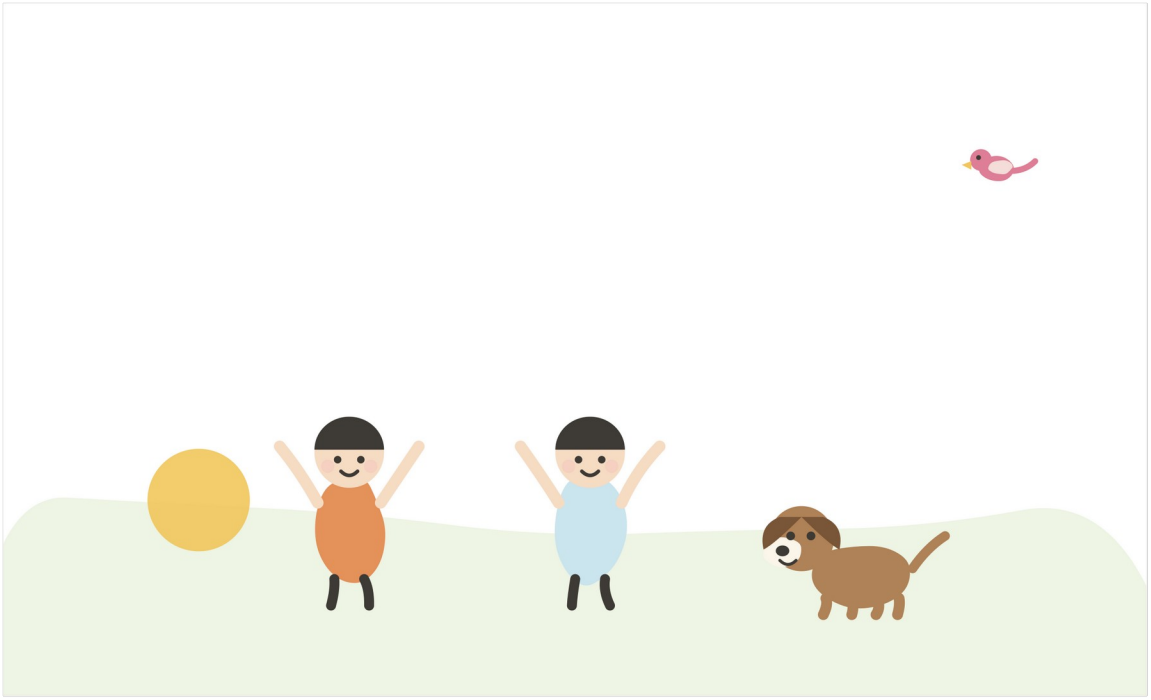
吹奏楽・美術・演劇・科学

命 いのちの活動部

保護活動・ TNR 支援

農 農と森の部

菜園・ビオトープ



5. 進路・部活・自治

生徒による自治

学校運営に、生徒が実際に責任をもって関わります

会

生徒総会

年 2 回。飼育方針や校則を議題にできる

委

動物福祉委員会

5 つの自由の点検結果から改善を提案

予

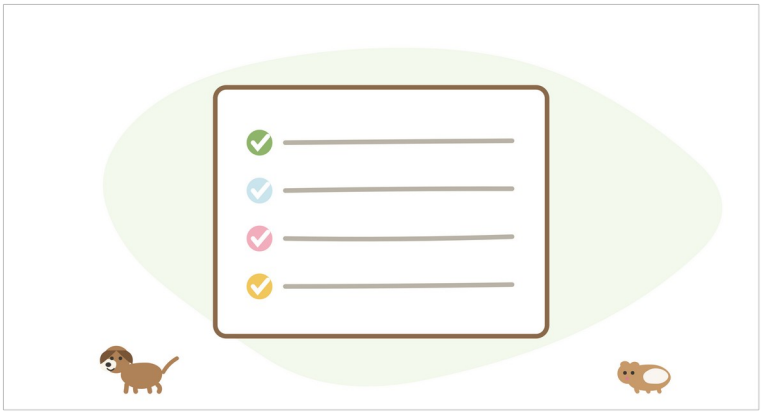
予算の提案権

飼育・環境に関わる予算の一部を、生徒が使途提案する

規

ルールの改定

接し方の約束を、生徒自身が毎年見直して更新する



評価のしくみ

観

3 観点による評価

知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学ぶ態度

録

ポートフォリオ

探究の記録、飼育記録、作品、発表資料を 3 年分蓄積

語

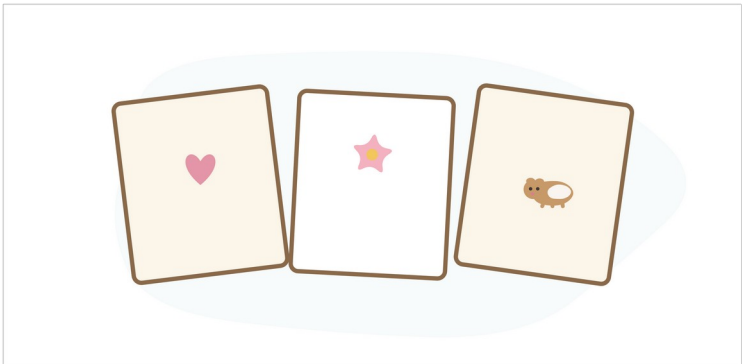
成長物語の記述

評定に加え、その生徒の歩みを言葉で描いて渡す

自

自己評価と相互評価

発表会で相互にコメントし、自分の評価も文章で残す



おわりに

花の時期に育てたいもの

知ってしまった以上、何かをせずにはいられない。

その衝動を、行動に変える技術まで教えます。

根 **根拠で語る力**

感情ではなく、データと事実で述べる

反 **反論を聴く力**

自分と違う立場の理由まで理解する

動 **行動に移す力**

できる範囲で、実際に一歩を踏み出す

続 **続ける力**

後輩に手渡し、卒業後もつながる

